



碧南ロータリークラブ"週報"

第2329回例会 平成18年9月13日(水)

- 会長 杉浦健次 ● 幹事 石川春久 ● 会場監督(SAA) 棚田道和
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 角谷信二・新美惣英・清澤聰之



2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

LEAD THE WAY
率先しよう
できるひとが
できるときに
できるところで

● 齊唱

ロータリーソング「我らの生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

碧南市スポーツ少年団 本部長 石川宇一氏
碧南市スカウト育成連絡協議会 小林尚徳氏



杉浦健次会長

会長挨拶

秋雨で足元の悪い中、例会に御出席賜りありがとうございます。先週は羽田育哉ガバナー補佐を迎えての例会でございました。例会後のクラブ協議会には役員、理事、委員長に御出席いただき誠にありがとうございました。各委員長の事業計画等の発表は大変自信に満ち、的を得たすばらしいものがありました。ガバナー補佐からも「碧南クラブは恐ろしいくらいできがよく完璧である」と、総評を頂きました。ありがとうございます。さて、今月は「新世代のための月間」であります。日頃から青少年の健全な育成にご尽力いただいている「碧南市スポーツ少年団」と「碧南市スカウト育成連絡協議会」様に後ほど助成金をお渡ししたいと存じます。今後とも未来ある子供たちに正しい活動教育をして頂きますようお願い申し上げます。昨今、親が子供を虐待し、子供が親を殺傷する、また、理由もなく衝動的行動により事件を起こす等々の報道が絶えません。なぜでしょうか?私はその一つとして是々非々の境があいまいになり過ぎているのではないかと思います。是は是、非は非を人生の先輩として、大人として親として青少年に示す必要があると思います。ロータリアンのすばらしい背中、後姿を見せようではありませんか。本日もよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通り
- ・本日例会終了後201号室にて理事会開催
- ・次週9月20日はガバナー公式訪問で碧南RC、一色RC合同例会開催。例会場は自由席となります。
- ・ガバナーの申出により12時頃より例会開始まで名刺交換を行います。場所につきましてはSAAが当日ご案内申し上げます。
- ・合同例会前10:30~12:00頃まで102号室にてガバナー、地区幹事、碧南・一色両クラブの会長幹事にて懇談会を行います。



委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78名（内出席免除者 13名）出席者 66名	
出席対象者 57／65名	出席率 87.69%
欠席者12名(病欠者0名)	前々回修正出席率 96.92%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

杉浦 健次君 先週例会後のガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会には役員、理事、委員長
石川 春久君 さんには大変ご苦労様でございました。お陰様で無事にガバナー補佐訪問を終了致しました。

有り難うございました。

岡田 趟勇君 久しぶりの例会出席です。又3人目の孫が生まれました。女の子です。

平岩統一郎君 役年の旅行で、会員の長田豊治さんに頑張って頂きました。

犬塚 敦統君 ①10/28（土）29日 チャリティー100km歩け歩け大会を行います。皆様是非ご参加下さい。現在520名がエントリーしてます。

②中部経済新聞に載せて頂きました。まだ見ていませんが、よろしく。

鈴木 輝彦君 J C O B 会中間総会が9／8・9に関西にて無事終了しました。多数の方々にご参加頂き有り難うございました。

竹下 豊君 メークアップが続き木村克美さん、森さんにお手数掛けました。

伊藤 正幸君 石川宇一様、小林尚徳様ようこそお越し下さいました。

角谷 信二君 じゃがいもクラブ遠征にて初日だけ優勝しました。又、第30回碧高祭が無事終了しました。

クラブフォーラム

「青少年活動の助成金贈呈及び挨拶」

碧南市スポーツ少年団 本部長 石川宇一氏

碧南市スカウト育成連絡協議会 小林尚徳氏

「地区クラブ奉仕委員会報告」クラブ奉仕委員長 平岩統一郎君

9月1日に地区のクラブ奉仕委員会が開催されましたので、簡単に報告方々ご説明申し上げます。本年度、地区のクラブ奉仕委員会の強調事項と致しまして、クラブ奉仕委員長の統括すべき委員会の確認と把握、またクラブ運営の効率化、魅力あふれる例会はどうしたらよいか、魅力あふれる会員の育成、この4つのことをいわれております。まず、第一のクラブ奉仕の統括すべき委員会の確認と把握、委員長の責任と範囲ですが、現状当クラブでは、クラブ奉仕委員会が11の委員会を統括しております、その一つのまとめ役がクラブ奉仕委員会であり、委員会と理事会のパイプ役でもあります。2番目にクラブ運営の効率化についてでありますが、RIといたしましては、会費に見合う充分な価値を提供しなさい、意欲を喚起するような有益で実り多いプロジェクトの実施をしなさい、効果的な運営、活動の為には、会員は経済的効果も考えるとそのような会員増強も重要であるといわれております。3番目に魅力あふれる例会につきましてですが、例会は最新情報の提供、人間形成の場であり、それが親睦である、そして魅力あふれる人格者の集いの場であるということあります。従いまして例会は卓話の時間を絶対に確保しなければいけない、これを厳守してほ



碧南市スポーツ少年団
本部長 石川宇一氏



碧南市スカウト育成連絡協議会
小林尚徳氏



クラブ奉仕委員長
平岩統一郎君

しい、クラブの事業、奉仕、親睦への率先参加、1時間の拘束は貴重な時間を割いて出るわけですからそのデメリットよりも例会に出ればメリットがあるぞというようにしてほしい、また100%出席を目指し途中退席は止めてほしい。4番目に魅力あふれる会員ですが、豊な教養とたしなみ、ロータリー精神を持つ、学問・芸術・スポーツ・マナー等に関する諸見識を持ち、諸文化に対する理解、社会に意義ある職業そして円満な発想を持って、厳しい規律、倫理観念を持って慈悲の心、寛容の精神で実行力のある魅力あふれるロータリアンが魅力あふれるロータリーをつくり魅力あふれるロータリーとして世間から認知尊敬されなければならない。魅力あふれるロータリアンになるようにロータリー精神を培養して魅力あふれる会員の育成と相互研鑽をはかり、親睦はそれらを実践する為の手段であるということ。クラブ奉仕委員会は例会のプロデューサーであり、そのようななかたちでクラブ奉仕委員会は行ってほしい、これらが地区の委員長の方針説明がありました。つづきまして地区から各ロータリークラブにアンケートが参りました。その集計結果がでましたので、その中で特に参考になるとか、色々な考え方があるというものを紹介いたします。一つ目に魅力あふれる例会のために100%出席率を目指して途中退席をなくすことについてあなたのクラブの方針方策をお知らせください。の問い合わせに、座席の固定化を防ぎ皆と一緒になるようにする。卓話の充実、タイムリーな話題の提供、社会的関心の高い事項の卓話、外遊、姉妹都市交流の報告。食事に関しては四季にあった内容の食事をとするようとする。たっぷり時間を取れるようとする。複数のメニューから選べるようにする。温かいご飯を出す。低カロリーメニューの採用。立食例会、早朝例会の実施。途中退席は初めから出席しない。例会前に全員で体操しリラックスする。欠席者にメールアップの案内をする。例会の前日にEメールで案内する。スリーピングメンバーに誘いをかける。夜間例会は二次会の設営をする。家族会の年4回の実施、1年間のスケジュールを8月に決定し案内し予定に入れてもらう。ニコボックスの発表はユウモアを交えた発表を。会員が3分間近況報告を発表する。等々の回答がありました。二つ目に、ロータリー運営の効率化についてクラブの方針をお知らせください。の問い合わせには、クラブの基本資料と会員名簿をパソコン作成し45万円の削減。会長のスピーチをプロジェクトによりビジュアル化し題材を時節に則したものにした。会員減少クラブは各委員会の集約を図る。例会場を安価な場所に移す。CLP（クラブリーダーシッププラン）の採用。財務体質を見直すためや会員が喜ぶ特別プロジェクト委員会の発足を会長方針で発足させた。会報をパソコンEメール化した、等々。3つ目に魅力あふれる会員育成の為のロータリー情報、ロータリー研修プログラムはどうされていますかの問い合わせには、新入会員のオリエンテーションの年3回実施、入会時から3ヶ月間お世話役をつけてアドバイスをするシステム。専任カウンセラーをつけて新入会員のフォロー等です。4つ目に、ロータリーファミリーに配慮するプログラムをお知らせください。とのアンケートには、ほとんどが家族会の実施ですが、趣味の会として会員と会員夫人のコーラス部会、ワインを飲む会、夫婦の会を年6回実施、クラブのゴルフコンペにご夫人も参加する。インタークト、ロータリー アクトへの参加等の回答結果がありました。以上は2760地区のアンケートです。第2部として『ロータリーを考える』と題してRI2680地区の96~97年の田中バストガバナー（尼崎西RC会員）の1時間半の講演を拝聴しました。すこし内容を紹介させて頂きます。「ポールハリスがロータリー創始者ですが、ロータリーはその時代時代のニーズに合う様に修正して現在に至っている。したがって、奉仕活動の実践に従事する時もその活動がロータリーにとってなぜ必要なのか、地域社会のニーズに適したものなのか、果たして合理的な組織の運営なのか常に考えながら行動に移し変えていかなければいけない。然しながら、変えなければいけないものと、変えてはいけないものがあるものを、はっきり分類しておかなければならない。絶対変えてはいけないものはロータリーの哲学、他人の事を思いやり他人の事に尽くすという奉仕の理念です。19世紀頃の実業界は勝てばよし、法律さえ犯さなければ大金を手にしたもののが成功者であり、もてはやされる時代。

真実を語って取引する人は殆どなく、だますよりだまされるほうが悪い、消費者の権利は自分で守るのが常識であった。それらを否定し、他人をだまして商売をしてはいけない、他人に対して奉仕しなさい、と変わっていった。自分の利益を得る目的のためにロータリーに入る。商売のためだけに入会するのは間違いである。色々な機会を通じて、会員同士が良く知りあって取引もやり、その取引は会員外にも広めていく必要がある。しかし自分を犠牲にしてまで他人のために奉仕するという内容のものではない。ロータリーの奉仕の理念は、職業は金儲けの手段だけではなくて社会に奉仕する為に存在するもの。最も多く奉仕したものが最も多くの利益を得る。(Profits most who service best) という職業奉仕と、心を超越して他人のために尽くすという、弱者に涙する人道的奉仕活動 (Service above self) という社会奉仕の2つの基本理念がある。変えなければならないものにはRI、地区の管理運営、奉仕活動の実践の方法等は時とともに変えていかなければならない。またRCの評価はどんな奉仕活動をしたのかということではなくて、そのクラブがどんな会員、人間をつくったかでクラブの評価をすべきではないかと言っておられました。また、RCの活動は各地のロータリークラブがやるんだという気概が一番大事であるということを話されました。時間が足りませんのでさわりだけをお話いたしました。

次回例会案内 平成18年9月27日（水）

「インフォーマル・ミーティング」

17：00～ 衣浦グランドホテル